

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
印南町	榎川地区	令和4年3月9日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	56.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	29.6ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	15.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.9ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.1ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>農業従事者の平均年齢も上がってきており、アンケート回答者の農地面積のうち約53%が耕作者70才以上となっており、さらにその約半分が後継者未定農地となっている。</p> <p>また、担い手の高齢化や後継者不足により、農地の維持管理が困難になってきており、耕作放棄地が増加している傾向がある。</p> <p>アンケート回答者のうち、約半数が規模を縮小または農業をやめたいとの意向である。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>後継者育成や若年農業者やUターン者も含めた新規就農者が安定した農業経営を行えるよう、先輩農家や営農グループの紹介等、多様な支援を行なっていく。</p> <p>地域の担い手への農地集積、利用権の交換等により営農しやすい区画にし、農地の有効利用や農業経営の効率化を図っていく。</p>

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

<p>(農地中間管理機構の活用方針)</p> <p>和歌山県農業公社やJA等の関係機関と連携し、農地中間管理事業の促進を図り中心経営体への農地の集約化を目指す。</p>
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	A	果樹・水稻	323a	果樹・水稻	323a	榎川
	B	果樹・水稻	205a	果樹・水稻	205a	榎川
	C	果樹・水稻	106a	果樹・水稻	116a	榎川
	D	果樹	83a	果樹	83a	榎川
	E	果樹・水稻	34a	果樹・水稻	34a	榎川
計	5人		751a		761a	